

目標Ⅰ ワーク・ライフ・バランスの推進と働く場における女性活躍推進
課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
企業や事業主への啓発と情報提供	(1)	企業等へのワーク・ライフ・バランスの啓発		市内の企業に対し、ワーク・ライフ・バランスの講演会等の実施および情報提供を行います。		
		1 青梅商工会議所との共催による講座の開催				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		2種類実施した地域女性活躍推進事業の啓発セミナーの中で、ワーク・ライフ・バランスについての話も行った。	B	青梅商工会議所と共催で実施している地域女性活躍推進事業のセミナーにおいて、ワーク・ライフ・バランスも取り上げた。	B	市民安全課
施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
固定観念の意識改革の推進	(2)	働く人に対するワーク・ライフ・バランスの啓発		働く人に対し、ワーク・ライフ・バランスの講演会等の実施および情報提供を行います。また、男性の育休取得率の向上を図ります。		
		1 ワーク・ライフ・バランスに関する講座の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		職員課と共催で、ワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施した。	B	地域女性活躍推進事業のセミナー以外に、入庁11年目の職員を対象とした、ワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施した。	B	市民安全課
		2 ジェンダー平等情報紙による意識啓発の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		10月と3月に、「よつばの手紙」31号と32号を発行し、意識啓発を行った。	B	ジェンダー平等情報紙『よつばの手紙』の中で、ワーク・ライフ・バランス等を含め、様々な取組を行っている企業を紹介し、意識啓発を促した。	B	市民安全課
		懇談会評価				

課題2 働く場におけるジェンダー平等の推進

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向			
働 き や す い 職 場 環 境 づ く り	(1)	労働相談の開催		労働相談を実施します。			
	1 社会保険労務士による相談の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
		社会保険労務士による労働相談を月1回実施した。相談件数について令和5年度の12件から令和6年度は14件に増え、労働諸問題の解決の一翼を担った。	B	社会保険労務士による労働相談を月1回実施した。相談件数について令和6年度の14件から令和7年度は18件に増え、労働諸問題の解決の一翼を担った。	B	商工業振興課	
		(2)	講座等の開催		労働者を対象とした講座や研修会を実施します。		
	1 労働者を対象とした講座等の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
		ハローワーク青梅や（公財）東京しごと財団などと共催で、セミナーや合同就職面接会を実施し、働く意欲のある方の支援を行った。（セミナー等回数13回）	B	ハローワーク青梅や（公財）東京しごと財団などと共催で、セミナーや合同就職面接会を実施し、働く意欲のある方の支援を行った。（セミナー等回数11回）	B	商工業振興課	
		(3)	商工・自営業等の労働者への支援		情報や学習機会の提供を行うとともに、青海市中小企業従業員等互助会、特定退職金・中小企業退職金制度への加入を促進します。		
	1 青海市中小企業従業員等互助会、特定退職金・中小企業退職金制度への加入促進	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
		青海市中小企業従業員等互助会では、補助金を交付し従業員の福利厚生を増進を図った。また、特定退職金・中小企業退職金制度支援を行うことで従業員の福祉の向上を行った。	B	青海市中小企業従業員等互助会では補助金を交付し従業員の福利厚生を増進を図った。また、特定退職金・中小企業退職金制度支援を行うことで従業員の福祉の向上を行った。	B	商工業振興課	
		施策	取組番号	取 組 項 目	取 組 の 方 向		
セ ク シ ュ ア ル ・ ハ ラ ス メ ン ト 等 の 防 止	(4)	各種ハラスメントの防止に向けた啓発		セクシュアル・ハラスメントをはじめとするさまざまな嫌がらせなどは重大な人権侵害であることや、被害相談の窓口等を周知します。			
	1 ポスターの掲示やパンフレットによる周知	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
		人権週間や、女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、パネル展示やパンフレットを配架し、周知を行った。	B	人権週間や、女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、ハラスメント防止のパネル展示を行い、周知を行った。また、人権に関するパンフレット等、通年で配架した。	B	市民安全課	
		啓発ポスターやリーフレット配架に協力した。	B	啓発ポスターやリーフレット配架に協力した。	B	市民活動推進課	
		国や都の関係部署から送付された啓発ポスターやリーフレットを窓口配架し周知に努めた。	B	国や都の関係部署から送付された啓発ポスターやリーフレットを窓口配架し周知に努めた。	B	商工業振興課	
		2 相談業務の周知	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		ホームページや広報にて、各種相談業務の周知を行った。	B	ホームページや広報にて、各種相談業務の周知を行った。	B	市民安全課	

懇談会評価		
-------	--	--

課題 3 女性の就業支援

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
就 業 ・ キ ャ リ ア 形 成 の 支 援	(1)	就業機会増加および再就職支援のための講座の開催		ハローワークとの共催講座を行い、就業機会の増加と退職した女性の再就職支援を図ります。また、日本シングルマザー支援協会と連携し、キャリアアップに向けた就労支援を行います。 働く女性や働くことを希望する女性が、その個性と能力を発揮して活躍できるための意識啓発など、各種取組を実施します。		
		1 ハローワークとの共催講座の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		ハローワーク職員を講師とした講座を開催できるよう、担当者と協議を行った。	B	ハローワーク青梅と、マザーズハローワーク立川の職員による、女性のための再就職支援講座を実施した。（参加者4人）	B	市民安全課
		2 日本シングルマザー支援協会と連携したひとり親サポート講座および個別訪問の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		ひとり親家庭サポート講座の参加者5人（内オンライン2人）、茶話会2人。訪問相談6人実施。	B	ひとり親家庭サポート講座の参加者3人、茶話会2人。訪問相談2人実施。	B	子育て応援課
	(2)	農業等に従事する女性の支援		農業等に従事する女性を対象とした学習機会の提供を行います。		
		1 市外女性農業者団体との交流の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		農産物の販売や味噌づくりを行うことで、会員同士の交流を深め、農家女性後継者の就労意欲の向上を図ることができた。農家女性後継者の会員を対象とした事業に参加。 ①東京都農林水産振興財団主催の「秋の家畜ふれあいデー」にて農産物を販売（令和6年10月） ②農産加工講習会（味噌づくり）の実施（令和7年3月）参加者6名	B	農産物の販売や味噌づくりを行うことで、会員同士の交流を深め、農家女性後継者の就労意欲の向上を図ることができた。農家女性後継者の会員を対象とした事業に参加。 ①東京都農林水産振興財団主催の「秋の家畜ふれあいデー」にて農産物を販売（令和7年11月） ②農産加工講習会（味噌づくり）の実施（令和8年3月）参加者5名	B	農林水産課
		(3) 就職支援のための母子・父子家庭自立支援プログラムの策定等				
		母子・父子自立支援員による就労支援プログラムを策定し、ハローワークと連携し就労支援を行います。また、高等職業訓練促進給付金等により資格取得などのスキルアップ等を支援します。				
			1 母子・父子家庭自立支援プログラムの策定事業の実施			
	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
	前年度と同様に実施した。（プログラム策定4人）		B	ハローワークと協力した就労支援および資格取得後の就労支援のため、自立支援プログラムを策定し支援した。（プログラム策定7人）	B	子育て応援課
	(4) 女性活躍の啓発および取組の推進					
	働く女性や働くことを希望する女性はその個性と能力を発揮して活躍できるための意識啓発など各種取組を実施します。					
			1 女性活躍推進事業の実施			
令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課		
地域女性活躍推進事業の一環として、女性リーダーのスキルアップセミナーと、リーダーのための組織活性化セミナーを開催した。（女性リーダーのべ31名、リーダーのべ29名参加）		B	地域女性活躍推進事業として、令和6年度に引き続き、女性リーダーのスキルアップセミナー（全5回）と、リーダーのための組織活性化セミナー（全4回）を開催した。（女性リーダーのべ41人、リーダーのべ21人参加）また、女性活躍のロールモデルによるパネルディスカッションを実施した。（24人参加）	B	市民安全課	
懇談会評価						

課題4 子育て・介護への支援

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
保 育 ・ 育 児 支 援 の 充 実	(1)	民間保育所の保育内容の充実		病児保育事業等を拡充するなど、保育の質の向上を図ります。 柔軟な受入体制を取り、待機児童の解消に努めます。		
	1 延長保育、一時保育の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		昨年度同様、各種事業（一時預かり事業、病児保育事業）を行い、保育の質の維持に努めた。	B	昨年度同様、各種事業（一時預かり事業、病児保育事業）を行い、保育の質の維持に努めた。	B	こども育成課
		(2)	学童保育事業の充実		柔軟な受入体制を取り、待機児童の解消に努めます。	
	1 待機児童の解消	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		前年と同様、40あるこどもクラブ（うち3カ所は民間）による学童保育事業を実施した。	B	前年と同様、40あるこどもクラブ（うち3カ所は民間）による学童保育事業を実施した。	B	子育て応援課
		(3)	子育て支援事業・子育てひろば事業の充実		子育て支援センター、子育て支援事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てひろば事業等を充実します。	
	1 子育て中の保護者と乳幼児、児童との遊びを通じた交流の場の提供	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		各事業ごとに、コロナ禍前の状況で実施できるよう対応し、利用者も増加した。	B	ベビープログラムについては新たに、1歳児から就学前の子を対象にした講座を実施。他の各事業は例年どおり実施した。	B	子育て応援課
		(4)	子育て相談の開催		こども家庭センターにおいて、妊娠から就学前を対象としたネウボラの特徴をとらえた支援や、子育て相談などの充実を図ります。また、子育て支援センター、子育てひろば事業、子育て支援事業において簡易な子育て相談を行います。 ※ネウボラ→フィンランド語で「アドバイスの場」を意味し、妊娠期から就学前までの子育て家庭を切れ目なく支援する仕組みや、そのための地域拠点のこと。	
	1 「こんにちは赤ちゃん事業」による生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		対象世帯に対して、子育て関連情報の提供や必要に応じ関係機関の支援につなぐ等実施した。（対象世帯515人）	B	前年度と同様、対象世帯に対し、子育て関連情報の提供や必要に応じ関係機関の支援につなぐ等実施した。（対象世帯520人）	B	こども家庭センター
		(5)	乳幼児ショートステイ事業		保護者の疾病などの理由により、一時的に家庭で養育ができない児童について、施設で一定期間の養育をします。	
	1 乳児院、児童養護施設でのショートステイ事業の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		コロナ禍前の状況で実施できるよう対応し、利用件数も増加した。（215件）	B	前年と同様、ショートステイ事業を実施し、利用件数も増加した。（263件）	B	子育て応援課
		(6)	私立幼稚園等保護者に対する補助金の交付		私立幼稚園等の園児の保護者に対し、補助金を交付し、負担軽減を図ります。	
	1 私立幼稚園等園児の保護者に対する負担軽減のための補助金の交付	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		令和6年度から法定代理受領による保護者への補助や入園料の補助を行い、保護者の経済的負担の軽減に努めた。	B	保護者補助金については例年通り交付したほか、副食費の補助金の上限を2,000円から4,900円まで増額し、さらなる保護者の経済的負担の軽減に努めた。	A	こども育成課
		(7)	子育て支援制度の情報提供		子育てアプリ「ゆめうめちゃんの子育て・予防接種ナビ」などを活用し、子育て支援制度情報の充実を図ります。	
	1 青梅市子育てアプリによる情報提供	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		子育てアプリを活用し子育て支援制度情報の周知を行った。	B	令和7年10月15日にアプリをリニューアルし、さらなる周知を図った。	B	子育て応援課

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向				
介護に関する支援	(8)	介護保険制度の周知		介護保険制度について、出前講座やホームページ、リーフレット等でさらなる周知を図ります。				
		1 介護と予防に関するガイドブックの配布						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		小冊子「みんなで支える老後の安心介護保険」を配布した。	B	小冊子「みんなで支える老後の安心介護保険」を配布した。	B	介護保険課		
		2 イベント会場での介護保険制度、地域生活支援センターの啓発						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		出前講座に職員を派遣して介護保険制度の啓発を行った。（参加者19人）	B	出前講座に職員を派遣して介護保険制度の啓発を行った。（参加者25人）	B	介護保険課		
	(9)	介護保険制度の活用促進		介護保険制度の活用により、介護者の心身の負担軽減を図ります。				
		1 介護サービス相談員派遣事業の実施						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		市内46施設に訪問し、利用者の不安や心配ごとをお聞きし、サービス事業所への橋渡しをすることができた。	B	市内44施設に訪問し、利用者の不安や心配ごとをお聞きし、サービス事業所への橋渡しをすることができた。	B	高齢者支援課		
		2 家族介護教室の実施						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		高齢者を介護している家族等に対し、身体的・精神的負担の軽減や要介護高齢者等の在宅生活の継続・向上を目的に介護の日に教室を実施した。（延べ参加人数48名）	B	高齢者を介護している家族等に対し、身体的・精神的負担の軽減や要介護高齢者等の在宅生活の継続・向上を目的に各地域包括支援センターで1回ずつ教室を実施した。（延べ参加人数60名）	B	高齢者支援課		
	(10)	介護に関する相談		地域包括センターを中心に、高齢者の困りごとや介護サービスに関することなど様々な相談支援を行います。				
		1 家族介護慰労金支給事業の実施						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
要介護者を介護する家族に対して慰労金を支給し、家族の経済的負担の軽減、要介護者の在宅生活の継続・向上を図った。（支給件数 6件）		B	要介護者を介護する家族に対して慰労金を支給し、家族の経済的負担の軽減、要介護者の在宅生活の継続・向上を図った。（支給件数 4件）	B	高齢者支援課			
2 徘徊高齢者家族支援サービス事業の実施								
令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課				
認知症の症状により、行方不明になるおそれのある高齢者探索のための機器を貸与し、高齢者の安全確保および介護者の負担を軽減した。（延べ174件）		B	認知症の症状により、行方不明になるおそれのある高齢者探索のための機器を貸与し、高齢者の安全確保および介護者の負担を軽減した。（延べ166件）	B	高齢者支援課			
		懇談会評価						

目標Ⅱ 社会のあらゆる分野におけるジェンダー平等の推進

課題1 行政・防災分野におけるジェンダー平等の推進

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向			
政策・方針決定過程への女性の参画	(1)	審議会等委員の女性委員の参画促進		市政の方針・政策決定過程に影響力のある審議会・委員会等への女性委員の割合が4割を超えるようにしていきます。			
	1 「青梅市付属機関等の設置運営に関する方針」にもとづき女性委員等の拡充を促す。	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		審議会等委員の女性委員への参画促進の周知を各課に事務連絡で実施した。	B	審議会等委員の女性委員への参画促進の周知を各課に事務連絡で実施した。	B	文書法制課	
		R6.12に、女性委員拡充についての事務連絡を各課へ発出した。	B	R7.12に、女性委員の参画促進についての事務連絡を各課へ発出した。	B	市民安全課	
		(2)	市政への市民意見の反映		市政などへの女性の参画を促進し、女性市民の意見を広く市政に反映する機会を拡充します。		
		1 「市民と市長との懇談会」「市長への手紙」の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
	一般向けでは、カインズ青梅インター店くみまちコミュニティスペースおよび御岳交流センターの2回開催、市東西での参加機会を設けた。また、子育て世代向けもくみまちコミュニティスペースで実施し懇談しやすい雰囲気づくりに努め、子育て世代向けでは参加者の8割は女性で、女性からの意見を収集できた。		B	一般向けでは、市役所7階食堂において、ワールドカフェ形式で実施し参加機会を設けた。また、高校生、専門学校生や大学生といった若者との意見交換会も実施し、懇談しやすい雰囲気づくりに努め、特に専門学校生では、参加者の8割は女性で、女性からの意見を収集できた。	A	企画政策課	
	紙と電子メールにて「市長への手紙」の受付・回答を行った。		B	紙と投稿フォーム等にて「市長への手紙」「市民の声」の受付・回答を行った。	B	市民安全課	
	2 各種計画等の策定段階でのパブリック・コメントの実施						
	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
	・青梅市都市計画マスタープラン（原案） ・青梅市みどりの基本計画（原案） ・青梅市移住・定住促進プラン（原案） ・青梅市防災基本条例（案） ・青梅市こども計画（原案） 等		—	・青梅市図書館基本計画（原案） ・東青梅1丁目地内諸事業用地等整備基本計画（原案） ・青梅市耐震改修促進計画（素案） ・第四次青梅市農業振興計画（素案）	—	—	
	施策		取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向	
	災害時の対応におけるジェンダー平等の促進	(3)	地域防災計画への女性の意見の反映		地域防災計画の修正にあたり、女性の視点・意見の反映を図ります。		
1 女性の視点・意見を踏まえた地域防災計画の修正		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		女性の視点を踏まえ、地域防災計画の修正を行った。また、新たに女性委員を一名、防災会議委員に委嘱した。	B	地域防災計画の見直しを検討した結果、修正の必要性はなかった。	B	防災課	
		(4)	避難所運営等でのジェンダー平等の促進		避難所運営等にあたりジェンダー平等の促進を図ります。		
1 女性と防災に関する講座・研修会の実施		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		前年度同様、防災ウーマンセミナー等の研修会の周知を行い、講座・研修会への参加を促した。また、女性防火防災の会や婦人会において防災の講座を実施した。（女性防火防災の会68名、婦人会16名）	B	前年度同様、防災ウーマンセミナー等の研修会の周知を行い、講座・研修会への参加を促した。また、女性防火防災の会を対象に防災の講座を実施した（参加者66名）。	B	防災課	

懇談会評価		
-------	--	--

課題2 地域・家庭におけるジェンダー平等の推進

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向			
地域活動へのジェンダー平等の推進	(1)	啓発活動の促進		地域活動等へ積極的な参加を働きかけるとともに、地域に対してジェンダー平等に関する情報提供を行います。			
	1 地域へのジェンダー平等に関する情報提供	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		ジェンダー平等情報紙を各市民センターへ配架、市内小中高へ配布の他、自治会で回覧し、情報発信を行った。	B	ジェンダー平等情報紙の各市民センター配架、市内小中高へ配布の他、自治会で回覧を行った。また、社会教育課と共催した、ジェンダー平等講演会は、広報以外にLINEによる周知を行った。	B	市民安全課	
		ジェンダー平等情報紙の市民センター配架に協力した。	B	ジェンダー平等情報紙の市民センター配架に協力した。	B	市民活動推進課	
		(2)	青梅ボランティア・市民活動センターの活動の促進		ジェンダー平等の視点からボランティア活動を支えるため青梅ボランティア・市民活動センターの活動を促進します。		
	1 青梅ボランティア・市民活動センターとの連携と事業の推進	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		青梅ボランティア・市民活動センターを市民活動団体の活動の拠点と位置づけ、同センターの活動を支援した。	B	青梅ボランティア・市民活動センターを市民活動団体の活動の拠点と位置づけ、同センターの活動を支援した。	B	市民活動推進課	
		(3)	NPO・ボランティア活動の活性化および協働の推進		ジェンダー平等の視点から市民活動団体との連携・協働事業を推進します。		
	1 男女共同参画センターについての検討	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
		ジェンダー平等担当の配置適正等、協議を行った。	B	ジェンダー平等担当の配置適正等、協議を行った。	B	市民安全課	
		(4)	女性リーダーの育成		地域活動における、女性リーダーを育成し、支援します。		
		1 女性リーダー育成講座の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
	地域女性活躍推進事業の一環として、青梅商工会議所と女性リーダーのスキルアップセミナー（全4回）を開催した。（のべ31名参加）		B	地域女性活躍推進事業として、女性リーダーのスキルアップセミナー（全5回）と、女性活躍のロールモデルによるパネルディスカッションを開催した。（スキルアップセミナーのべ41人参加。パネルディスカッション24人参加）	B	市民安全課	
	家庭におけるジェンダー平等の確立		(5)	ジェンダー平等による家事・育児・介護などの促進		男女がともに参加できる家事・育児・介護などの講座を開催します。	
		1 母子手帳交付時に父親ハンドブックの配布	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
「父親ハンドブック」は紙の発行をしていないため、一定数の配布で終了。令和6年度は「パパとママが描くみらい手帳」を配布し、育児の協力の重要性を伝えている。			B	令和7年度は父親の育児休業の制度の詳細が記載されている厚労省のチラシ（イクメンプロジェクト）を配布し、父母の育児協力の重要性を伝えた。	B	こども家庭センター	
(6)			家庭生活への男性の参画支援		男性が家事・育児等を積極的に行えるための講座を開催します。		
1 ワーク・ライフ・バランス講座の開催		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課	
	ライフステージの変化が多くなる中堅職員を対象に、職員課と共催でワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施した。（16名参加）	B	地域女性活躍推進事業のセミナー以外に、入庁11年目の職員を対象とした、ワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施した。（庁内研修13人参加）。	B	市民安全課		
		懇談会評価					

課題3 生活の安定と自立の支援

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
特 別 な 配 慮 を 必 要 と す る 人 々 へ の 支 援	(1)	ホームヘルプサービスの実施		ひとり親家庭や障がい者等に対し必要に応じた適切なサービスを実施します。		
	1 ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		7世帯に実施した。（新規申請4世帯）	B	7世帯に実施した。（新規申請2世帯）	B	子育て応援課
	(2)	ひとり親家庭等への支援		貸付金制度、就業支援の充実に努め、医療費助成、手当の支給を行います。		
	1 母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		2件が研修を修了。職場でのステップアップ をしている。	B	4件が研修を修了。職場でのステップアップに 繋がっている。	B	子育て応援課
		2 母子家庭等高等職業訓練促進費等事業の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		18件に給付金を支給し9件卒業。資格を取得し、 職場でのステップアップや転職をした。	B	18件に給付金を支給し5件卒業。資格を取得し、 職場でのステップアップや転職をした。	B	子育て応援課
		3 母子・父子・女性福祉資金貸付事業の実施				
	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
	15世帯に貸し付けし、6世帯卒業。	B	8世帯に貸付し、6世帯卒業した。	B	子育て応援課	
	(3)	障がい者等の支援		生活利便を図るための住宅改造費用助成や、ショートステイ事業等障害福祉サービスなどにより、障がい者等の自立を支援します。		
	1 障害福祉施策にもとづく居宅介護サービスの実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
当初の予定通り短期入所（ショートステイ）をはじめとした障害福祉サービスを提供できたため。（R6：44事業所 131人利用）		B	当初の予定通り短期入所（ショートステイ）をはじめとした障害福祉サービスを提供できた。（R7：43事業所 138人利用）	B	障がい者福祉課	
2 玄関等の住宅設備の改善費の支給						
令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課		
重度身体障害者（児）の生活利便を図るため、居住する玄関等の住宅設備の改善費を支給 2件 1,351千円	B	重度身体障害者（児）の生活利便を図るため、居住する玄関等の住宅設備の改善費を支給した。 3件 778千円	B	障がい者福祉課		

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
高 齢 者 へ の 支 援	(4)	高齢者の生活支援		紙おむつ等給付事業や配食サービス事業など、見守りも兼ねた生活支援サービスを提供し、高齢者の負担軽減を図ります。		
	1	紙おむつの給付や高齢者配食サービスの実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		前年度同様、事業目的に沿った事業を実施した。（おむつ利用延べ621人、配食サービス登録数283件）	B	前年度同様、目的に沿った事業を実施した。（おむつ利用延べ570人、配食サービス登録数295件）	B	高齢者支援課
	(5)	高齢者の生きがいがづくり		高齢者の生きがいがづくりに関する講座や、高齢者クラブへの支援、シルバーマイスターの活用などを通じて、元気高齢者の生きがいがづくりを図ります。		
	1	高齢者教養講座の実施や、高齢者クラブへの補助金の交付				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		高齢者クラブ連合会および単位高齢者クラブに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進を図った。また、高齢者教養講座等について、事業目的に沿って事業を実施した。	B	高齢者クラブ連合会および単位高齢者クラブに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進を図った。また、高齢者教養講座について、事業目的に沿って事業を実施した。	B	高齢者支援課
	(6)	高齢者の社会参加と能力活用		シルバー人材センター事業への支援を通じて、高齢者の社会参加を図ります。		
	1	シルバー人材センター事業の利用促進				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		シルバー人材センターに対し、就業機会の確保・拡大を図った。	B	シルバー人材センターに対し運営費を助成。就業機会の確保・拡大を図った。	B	高齢者支援課
	(7)	介護保険制度に関する周知		介護保険制度を周知するとともに、介護保険事業を実施します。		
	1	介護保険事業の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		広報おうめの特集号を発行し、介護保険制度の改正部分を含め、仕組み等について周知を行った。	B	広報おうめの特集ページを作成し、介護保険制度の周知を行った。	B	介護保険課
(8)	高齢者の総合相談の実施		高齢者の介護等にかかる総合相談の充実を図ります。			
1	地域包括支援センターにおける総合相談の実施					
	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課	
	令和6年度から第1地区の直営包括を委託した。また、新たに第2地区、第3地区に支所を設置し、高齢者の総合的な相談窓口として、事業目的に沿った事業を実施した。	B	市内3圏域の地域包括支援センターと、第2地区と第3地区の支所を含め、市内5箇所、高齢者の総合的な相談窓口として、事業目的に沿った事業を実施した。	B	高齢者支援課	
施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
困 難 な 問 題 を 抱 え る 女 性 へ の 支 援	(9)	困難な問題を抱える女性への支援		「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に対応できるよう、支援を充実させるとともに、問題が顕在化しにくい若年女性への支援も進めていきます。		
	1	女性相談の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および 対前年度進ちょく評価		所管課
		第1・第3金曜日に、女性のためのカウンセリング「はればれ」を開催した。 R6の利用数は31件。	B	第1・第3金曜日に、女性のためのカウンセリング「はればれ」を開催した。（相談件数44件。）	B	市民安全課

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
困難な問題を抱える女性への支援	(9)	困難な問題を抱える女性への支援		「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に対応できるよう、支援を充実させるとともに、問題が顕在化しにくい若年女性への支援も進めていきます。		
	1	女性相談の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		第1・第3金曜日に、女性のためのカウンセリング「はればれ」を開催した。 R6の利用数は31件。	B	第1・第3金曜日に、女性のためのカウンセリング「はればれ」を開催した。（相談件数44件。）	B	市民安全課

懇談会評価		
-------	--	--

課題4 生涯を通じた心と体の健康支援

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
母子保健事業の充実	(1)	母子保健に関する指導・助言		母親学級等を通じて、女性の生涯を通じた健康のための情報を提供します。また、相談事業も行います。		
	1 妊婦健康診査の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		昨年度と同様、妊婦健康診査を実施した。母子手帳交付時、面談にて妊婦健康診査について説明を行い、受診券を全員に配布した。	B	昨年度と同様、妊婦健康診査を実施した。母子手帳交付時、面談にて妊婦健康診査について説明を行い、受診券を全員に配布した。	B	こども家庭センター
		(2)	各種健康診査と育児支援		母子の健康・健全な生活習慣の確立・子どもの健全育成の支援のために、各種健康診査等を実施します。	
	1 乳幼児健康診査の実施	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		健康診査対象児に対して通知を行い、乳幼児健康診査を実施した。未受診者に対しては、再通知や訪問等により受診勧奨した。	B	昨年と同様に健康診査対象児に対して通知を行い、乳幼児健康診査を実施した。未受診者に対しては、再通知や訪問等により受診勧奨した。	B	こども家庭センター
		施策	取組番号	取 組 項 目	取 組 の 方 向	
	健康に生活していくための支援	(3)	健康管理意識の高揚		年齢や性別に応じた各種健康診査や健康に関する講座等を開催し、健康管理意識を高めます。	
1 健康管理意識の向上		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		健康ポイントアプリ事業が軌道に乗り、当初3年目終了時の目標であった2,500人を2年目終了時で達成（6年度末2,594人）し、性別、年代を問わない健康管理意識の高揚に大きく寄与した。	A	健康ポイントアプリ事業の3年目が終了し、利用者数は前年度末から1,737人増の4,331人となった。女性の割合は6割程度で10代～80代の幅広い年齢層の参加が維持されている。多くの利用者の健康管理意識向上に寄与した。	B	健康課
		(4)	スポーツ・レクリエーションの推進		各種スポーツ大会や有酸素運動普及事業等を実施します。	
1 各種スポーツ大会の実施		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		第57回青梅マラソン大会や第86回奥多摩溪谷駅伝競走大会、第65回市民スポーツ大会等の各種スポーツ大会を予定通り実施した。	B	第58回青梅マラソン大会や第87回奥多摩溪谷駅伝競走大会、第66回市民スポーツ大会等の各種スポーツ大会を予定通り実施した。	B	スポーツ推進課
		(5)	スポーツ指導者の育成		適切なアドバイスや実技のできる指導者の育成を図ります。	
1 スポーツ推進委員の研修会の実施		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		第7ブロック研修会や、現在普及を行っている「ポッチャ」の審判技術に関する研修会に参加した。	B	東京都スポーツ推進委員協議会研修や第7ブロック研修会、独自研修として救命講習会を実施した。	B	スポーツ推進課
		(6)	スポーツに親しめる環境づくり		学校体育施設の開放、民間温水プールの確保等スポーツに親しめる環境づくりの充実を図ります。	
1 健康づくりのための学習活動の実施		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		学校体育施設の開放、民間温水プールの借り上げ・開放を予定どおり実施した。	B	学校体育施設の開放、民間温水プールの借り上げ・開放を予定どおり実施した。	B	スポーツ推進課
			懇談会評価			

課題 5 様々なマイノリティの支援

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
パートナーシップ制度の支援	(1)	パートナーシップに関する行政サービスの整備		パートナーシップに関する行政サービスの整備について検討していきます。		
		1 パートナーシップ制度の利用者が受けられる行政サービスの拡充				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		令和7年度4月1日に向けて、あらたな支援制度の整備が行われた。	B	4月と10月に、1事業ずつパートナーシップ制度の利用者が受けられる行政サービスを増やした。(4月:おふたりOmeでとう!お祝い金・くらし応援金、10月:私立学校等の給食費相当額給付金支給事業)	B	市民安全課
施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
外国人への支援	(2)	外国人居住者への日常生活の情報提供		市内在住外国人が日常に不便や不安がなく生活を送れるための情報をホームページなどで提供します。		
		1 市政や暮らし、災害関連などに関する情報の外国語による提供				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		市のホームページにて6か国語(英語、スペイン語、中国語【繁体字と簡体字】、韓国語、ドイツ語)の翻訳を行うことができ、年間で3,128件の利用があった。	B	市のホームページにて6か国語(英語、スペイン語、中国語【繁体字と簡体字】、韓国語、ドイツ語)の翻訳を行うことができ、年間で5,033件の利用があった。	B	秘書広報課
	(3)	国際交流ボランティア活動の促進		語学ボランティアにより、青梅マラソン等に参加する外国人を支援し、市民レベルの国際交流を促進します。		
		1 青梅マラソン大会での外国人参加者への対応のため、語学ボランティアによる支援				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		令和5年度同様、令和6年度についても、語学ボランティアの配置をせずに青梅マラソン大会を実施した。今大会についても、語学ボランティアがいないことで意思疎通ができず、大会開催中に外国人とトラブルになった等の混乱についての報告はなかった。	—	令和5年度以降、語学ボランティアの配置をせずに青梅マラソン大会を実施した。今大会についても、語学ボランティアがいないことで意思疎通ができず、大会開催中に外国人とトラブルになった等の混乱についての報告はなかった。	—	秘書広報課
		懇談会評価				

目標Ⅲ 人権の尊重によるジェンダー平等の意識づくり
課題1 ジェンダー平等の啓発

施策	取組番号	取組項目	取組の方向		
啓発事業・広報活動の充実	(1)	事業・講座の実施時間等の見直し	多くの市民がジェンダー平等について学習できる機会の拡充のため、講座の内容や、実施時間の見直しを行います。		
	1 休日、夜間等の講座開催時間の調整	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		ひとり親家庭サポート講座を土曜日に行った。またZoomでも受講できるようにした。		B	ひとり親家庭サポート講座を日曜日に開催した。参加者3人（茶話会2人）、アーカイブ配信2人。
		2 託児付き講座等の開催		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		・ひとり親家庭等サポート講座（託児1世帯） ・ハローワークと共催の就職支援講座（託児1世帯）	—	ひとり親家庭等サポート講座（託児2世帯）	—
	(2)	ジェンダー平等に関する事業等の周知	多様な媒体を利用して、ジェンダー平等に関する意識啓発、事業の周知等を行います。		
	1 市広報、ホームページの活用	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		「青梅市ジェンダー平等推進計画」の他、市が共催で実施している事業の周知など、ホームページや広報で行った。		B	市が実施しているパネル展示や講演会等の周知を、ホームページや広報のほか、ジェンダー平等情報紙でも行った。
		2 ジェンダー平等情報紙の発行		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		年に2回、「よつばの手紙」を発行し、本庁舎だけではなく、各市民センターや市内各駅にも配架した。また、市内の学校にも配布した。	B	年に2回、「よつばの手紙」を発行し、各種委員会委員への配布や、市民センター、市内各施設等に配架した。また、市内の保育園・幼稚園、学校（小中高、専門学校）に配布した。なお、ホームページへの掲載も行った。	B
		3 人権パネル展による啓発		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		6月に性的マイノリティも含めた人権啓発のパネル展示を実施した。	B	人権擁護委員の日と、性的マイノリティの権利を啓発するプライド月間である6月のほか、人権週間のある12月に、性的マイノリティの方の人権を含めた、啓発パネル展示を実施した。	B
	(3)	活字等における適切な表現の推進と性表現の配慮	広報紙、市の出版物等を作成する際に、ジェンダー平等の視点に立ち、適切な表現を推進するとともに、性的な差別につながる表現になっていないか配慮します。		
	1 広報や情報紙など市の発行する文章について、男女の区別等にかかる表現に対する配慮	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		広報紙「広報おうめ」については、性差を感じるような表現を避けるよう原稿作成時から校正の段階において職員同士で複数回確認を行った。	B	広報紙「広報おうめ」については、昨年度同様に性差を感じるような表現を避けるよう原稿作成時から校正の段階において職員同士で複数回確認を行った。	B
		ジェンダー平等情報紙「よつばの手紙」を発行する際に、適切な表現となっているのか外部の先生に確認を行った。	B	ジェンダー平等情報紙「よつばの手紙」を発行する際に、男女の区別を含め、適切な表現となっているのか外部の方による校正を受けた。	B
		性の商品化の防止のための意識啓発		「東京都青少年の健全な育成に関する条例」等の周知や関係機関との連携により、性の商品化防止に向けた取組を行います。あわせて、女性の人権尊重の啓発を行います。	
	1 市内販売店等への不健全図書類の販売自粛要請	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価	
		前年と同様に周知し、意識啓発を行った。		B	書面にて、レンタルビデオ店、カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア、パチンコ店など68店舗に対し、青少年の被害・非行防止と健全育成について協力を依頼し、意識啓発を行った。

懇談会評価		
-------	--	--

課題 2 ジェンダー平等意識を推進する教育・学習の充実

施策	取組番号	取 組 項 目	取 組 の 方 向		
性的マイノリティに関する人権尊重	(1)	性的マイノリティに関する啓発	性的マイノリティを理由にした差別・偏見をなくし、理解を深めるための啓発を行います。		
		1 リーフレットやホームページによる啓発			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		性的マイノリティに関するパンフレットの配架の他、人権啓発のパネル展示の際に、性的マイノリティについても啓発を行った。	B	性的マイノリティに関するパンフレットの配架の他、人権啓発等のパネル展示の際も、性的マイノリティについての啓発を行った。	B 市民安全課
施策	取組番号	取 組 項 目	取 組 の 方 向		
学校教育におけるジェンダー平等教育の推進	(2)	ジェンダー平等教育推進のための啓発	校長会、副校長会および人権教育推進委員会（各校 1 名）を通して、人権としてのジェンダー平等教育の意義および推進について指導を行います。		
		1 校内における人権教育研修の開催			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		市内中学校4校で実施したデートDV講座の中で、生徒や学年担当の先生に対し、人権についての話も行った。	B	市内中学校4校で実施したデートDV講座の中で、生徒や学年担当の先生に対し、人権についての話をを行った。	B 市民安全課
	(3)	進路指導の充実	性別にとらわれることなく、自分の個性を生かせるよう進路指導の充実を図ります。		
		1 進路指導主任連絡協議会や、人権教育研修会を通じた進路指導			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		キャリア教育の全体計画や年間指導計画を作成し、総合的な学習の時間や職業体験・職業講話等において意識啓発の取組を行った。	B	キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成した上で、総合的な学習の時間、職業体験・職業講話等とおして意識啓発に取り組んだ。	B 指導室
	(4)	指導資料等の整備	性教育の全体計画・年間指導計画の改善・充実を行います。		
		1 東京都教育委員会作成の人権教育プログラムの活用			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		各校において、人権教育プログラムにもとづいた全体計画・年間計画を作成し、様々な教育活動とおして人権意識を高めるよう取り組んだ。	B	各校において、人権教育プログラムにもとづき全体計画・年間計画を作成した上で、様々な教育活動とおして人権意識を高めるような取り組みを行った。	B 指導室
	(5)	教職員研修の開催	人権尊重を基盤とした学校経営や学級・教科経営を推進し、ジェンダー平等教育などに関する研修を実施します。		
		1 人権教育推進委員会、道徳教育推進委員会における教職員の意識啓発			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		市内各校の担当教員が、市主催の人権教育推進委員会ならびに東京都人権尊重教育推進校の研究発表会等に参加し、意識啓発を図った。	B	市主催の人権教育推進委員会および東京都人権尊重教育推進校の研究発表会等に、市内各校の担当教員が参加することで意識啓発を図った。	B 指導室
施策	取組番号	取 組 項 目	取 組 の 方 向		
社会教育におけるジェンダー平等教育の推進	(6)	ジェンダー平等に関する講座等の開催	ジェンダー平等の視点に立った講座を実施します。		
		1 ジェンダー平等啓発講座の開催			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		社会教育課と共催で、ジェンダー平等に関する講座を実施した。（会場のみ。参加15人。）	B	社会教育課と共催で、会場とZoomのどちらでも聴講できる、ジェンダー平等の講座を実施した。（参加23人。会場15人、Zoom 8人）	B 市民安全課
	(7)	学習情報の提供	学習情報、各種団体の活動情報、視聴覚ライブラリー情報、市政に関する報告書や計画書等を提供します。		
		1 家庭教育支援講座の開催			
		令和 6 年度事業実績と評価	令和 7 年度事業実績および対前年度進ちょく評価	所管課	
		計画通り年3回「家庭教育講演会」を開催し、合計で120人の参加があった。	B	年間の計画通り、年3回「家庭教育講演会」を開催し、合計で65人の参加があった。	B 社会教育課
		懇談会評価			

目標Ⅳ 配偶者等暴力対策

課題 1 配偶者等からの暴力の防止

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向				
暴力の未然防止のための意識啓発	(1)	暴力を防ぐための意識啓発		DV等暴力が重大な人権侵害であることや、発見時の通報について周知します。また、デートDVなど若年層に向けた啓発を行います。				
		1 啓発カードの作成・配布						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		女性のためのカウンセリング時も、啓発カードを渡せるようにした。	B	啓発展示時のほか、窓口への常設や、女性のためのカウンセリング時にも、啓発カードを渡せるようにした。	B	市民安全課		
		2 中高校生等を対象にしたデートDV啓発講座の開催						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		令和7年3月に、市内の中学3年生を対象にデートDV講座を実施した。参加者は4校合計で574名。	B	令和7年度は、特別支援学級を対象としたデートDV講座を初めて実施した。（参加者は4校合計で254名。）	B	市民安全課		
	(2)	人権尊重の意識啓発		人権尊重に関する意識啓発を行います。				
		1 人権・身の上相談の実施（定例・特設相談）						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
年間12回の定例相談と2回の特設相談を実施した。（R6：47件）		B	年間12回の定例相談と2回の特設相談を実施した。（R7：54件）	B	市民安全課			
施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向				
被害者支援対策の充実	(3)	DV相談体制の整備		被害者らの相談に応じ、自身の安全と生活の安定に向けた助言・援助を行います。				
		1 相談支援員等による相談対応、助言、支援の実施						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		婦人相談員による、被害者からの相談対応、助言、支援の実施 相談件数：693件 うち夫等の暴力に関する相談件数：69件 婦人相談員2名で相談業務を実施しており、相談件数は前年度に比べ32件増加し、暴力に関する相談件数は前年度と比べ4件増加した。被害者自身の安全と安定に向け助言・支援を実施した。	B	女性相談支援員による、被害者からの相談対応、助言、支援の実施。 相談件数：477件 うち夫等の暴力に関する相談件数：68件 女性相談支援員2名で相談業務を実施しており、相談件数は前年度に比べ216件減少し、暴力に関する相談件数は前年度と比べ1件減少した。被害者自身の安全と安定に向け助言・支援を実施した。	B	DV担当課		
	(4)	DV被害者の自立支援体制の充実		配偶者暴力被害者等に対し、より円滑な支援ができる体制の充実を図ります。DVおよびストーカー等の被害者の自立に向けた支援を行います。				
		1 地域包括支援センターにおける相談の実施						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		前年度と同様の体制で事業を実施した。青梅警察署、女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	B	青梅警察署、女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	B	DV担当課		
	(5)	DV被害者の保護体制の整備		庁内・関係機関等との連携を図り、DV被害者の安全の確保に向けた体制の整備と支援を行います。				
		1 各職場への啓発と窓口対応での連携						
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課		
		必要に応じ、庁内関係課および青梅警察署や女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	B	庁内関係各課や青梅警察署、および女性センター等と連携し、一時保護、同行支援、一時保護後の支援等を行った。	B	DV担当課		
(6)	庁内連携体制の強化		被害者の状況に応じて、関係各課が連携し共通認識のもと、二次被害の防止、被害者情報の保護に配慮し支援を行うことで配偶者暴力相談支援センターの機能を果たすよう努めるとともに、配偶者暴力相談支援センターの整備について検討を行います。					
	1 配偶者等暴力対策関係課連絡会の開催							
	令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課			
	必要に応じ、庁内関係課と連携した。	B	必要に応じ、その都度、庁内関係各課と連携した。	B	DV担当課			

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
関係機関との連携	(7)	外部関係機関との連携		関係機関と連携し、早期発見・支援・防止に努めます。		
		1 犯罪被害者支援ネットワークを通じた青梅警察署との連携				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		青梅警察署の被害者支援担当者と連携内容についての協議を行った。	B	青梅警察署犯罪被害者支援ネットワーク講演会及び事例検討会に参加した。なお、事例検討会については、主催者都合により中止となった。	B	市民安全課
		2 犯罪被害者支援の相談および啓発活動の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
	消費者相談室、青梅防犯協会とともに街頭キャンペーンへ参加したり、1階ロビーで啓発展示を行った。	B	消費者相談室、青梅防犯協会とともに街頭キャンペーンへ参加。また、11月の「犯罪被害者月間」に合わせ1階ロビーで啓発展示を行った。	B	市民安全課	
懇談会評価						

目標Ⅴ 総合的な計画の推進
課題1 推進体制の強化・充実

施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
市民参画による計画の推進	(1)	市民との連携		市民、各種団体、事業者等と連携し、本計画による施策を推進します。		
	1	ジェンダー平等推進計画懇談会の開催				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		年に3回懇談会を開催し、新しい推進計画の取り組み評価を行った。	B	年に3回、ジェンダー平等推進計画懇談会を開催し、推進計画の取組評価を行った。	B	市民安全課
	(2)	進ちょく状況報告書の作成		毎年、前年度事業の進ちょく状況報告書を作成し、青梅市ジェンダー平等推進計画懇談会の意見等を踏まえ、各事業の進ちょく内容を検証し、施策の充実を図ります。		
	1	計画推進懇談会、情報紙編集委員会等への市民の参画				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
懇談会、ジェンダー平等情報紙ともに新しい公募委員を迎え、御意見をいただきながら運営した。		B	ジェンダー平等推進計画懇談会、ジェンダー平等情報紙編集委員会ともに、市民公募委員の御意見をいただきながら運営を行った。	B	市民安全課	
施策	取組番号	取 組 項 目		取 組 の 方 向		
市内のジェンダー平等推進体制の充実	(3)	庁内推進体制の整備		ジェンダー平等に関連する部署の連携を図り、内部組織を整備していきます。		
	1	ジェンダー平等推進計画検討委員会の開催				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
		年に2回検討委員会を開催し、進ちょく管理を行った。	B	年に2回、ジェンダー平等推進計画検討委員会を開催し、ジェンダー平等推進計画懇談会による推進計画取組評価のフィードバックを行った。	B	市民安全課
	(4)	市職員に対するジェンダー平等の啓発		職場や家庭等の固定的な性別役割分担意識の解消のための意識啓発を行います。		
	1	ジェンダー平等に関する職員研修の実施				
		令和6年度事業実績と評価		令和7年度事業実績および対前年度進ちょく評価		所管課
主任職以上の女性職員を対象とした「女性キャリアデザイン研修」を実施、38名が参加した。		B	30～40代の女性職員を対象に「女性職員を対象としたキャリアデザイン研修」を実施、13人参加した。	B	職員課	
令和7年度に実施できるよう、担当講師の選定と交渉を行った。		B	職員に対するジェンダー平等研修を実施し、性的マイノリティ、アンコンシャスバイアスについても講義を行った。（受講者40人）	B	市民安全課	
		懇談会評価				